

★講師 谷 直樹 氏のプロフィール

大阪くらしの今昔館（大阪市立住まいのミュージアム）館長。大阪市立大学名誉教授。京都大学大学院工学研究科建築学専攻博士課程修了。工学博士。専門は、建築史・居住文化史・博物館学。大阪くらしの今昔館の先駆的な企画・運営で日本建築学会賞及び同教育賞、大阪市北区豊崎における長屋スポットの保全・再生プロジェクトで同教育賞、同著作賞、グッドデザイン・サステナブルデザイン賞などを受賞。著書に『まちに住まうー大阪都市住宅史』（共著）、『まちに住まう知恵ー上方三都のライフスタイル』、『いきている長屋 大阪市大モデルの構築』（編著）など



- **会 場**：西陣 薬ノ家(京都市上京区上立売通浄福寺西入姥ケ東西町 632 番地、角地、東隣駐車場)
*薬(ヒコバエ)とは、樹木の切り株や根元から生えてくる若芽を意味します。
- **参加費**：1000 円 (資料付、会員 800 円、学生無料)、セミナー終了後の懇親会 1000 円 (学生無料)
- **参加方法**：お名前、所属、電話・FAX 番号、メールアドレス及び懇親会の参加の有無を明記の上、
6 月 6 日(水)までに FAX またはメールまたは電話でお申込み下さい。
申込時点で参加受理とさせていただきます、ご返事は省略させていただきます。
- **参加申込・問合せ先**：NPO 法人 関西木造住文化研究会 (略称 KARTH：カース)
TEL 075-411-2730 悠計画研究所内、FAX 075-411-2725、E-mail info@karth.sakura.ne.jp
<http://karth.org/> 京都市上京区上立売通浄福寺西入姥ケ東西町 632 番地

●会場の交通アクセス

- ・バス停「今出川浄福寺」又は「千本今出川」又は「千本上立売」より徒歩約 5 分
- ・JR 京都駅より(所要時間 約 40 分、角地)
 - ①地下鉄烏丸線「烏丸今出川」駅下車、3 番出口、烏丸今出川交差点の今出川通東側バス停から西行きバス乗車、「今出川浄福寺」下車
 - ②市バス利用:A3 の 206 番に乗車、バス停「千本上立売」下車、または B2 の 50 番、101 番乗車、バス停「千本今出川」下車



会場



会場案内図

- ヒコバエ
西陣 薬ノ家 (下記所属は当時の内容、WM:ワーキングメンバー)
- ・改修設計:KARTH(担当 悠計画研究所(田村佳英、武田眞理子)&木下孝一(数寄屋研究所心傳庵 大工棟梁)、WM23 名
 - ・改修施工:数寄屋研究所心傳庵
 - ・改修前後の振動実験:統括指導 鈴木 有 (秋田県立大学木材高度加工研究所 教授)、WM23 名
 - ・土壁耐震実験:統括指導 鈴木 有(前掲)、実験 村上雅英(近畿大学 助教授)&村上研究室、WM22 名
 - ・土壁防火実験:統括指導 長谷見雄二(早稲田大学 教授)、実験協力 日本建築総合試験所、WM18 名
 - ・「京都西陣の町家再生～西陣薬(ヒコバエ)ノ家～とその構造・防火温熱環境性能の検証」活動は、NPO 木の建築フォーラム主催・2003 年度第1回「木の建築賞大賞」を、研究者の方々と共同受賞。
 - ・京都市市街地景観条例歴史的意匠建造物。防災協力井戸あり。

これまで開催したシリーズセミナー (会場：西陣 薬ノ家)

- 第1回 「樹木災害と文化財防災」、小玉泰義(岡山県農林水産総合センター森林研究所木材加工研究室)、2016.3/6
- 第2回 「火災の実態と建築物の防耐火に関する基本」、吉田正友(大阪工業大学特任教授)、2016.4/24
- 第3回 「伝統木造建築技術を基盤とする防災文化の再構築」、渡辺一正(NPO 市民文化財ネットワーク鳥取 理事長)、2016.7/23
- 第4回 「地震の強震動から建物被害を抑えるために」、2017.2/5
 - 第1部 「見落とされてきた破壊的な鉛直地震動の現象について」、前原 博((一財)地球システム総合研究所)
 - 第2部 勉強会「伝統木造柱梁構法の災害特性-粘り強さに籠められた仕掛け-を考える」、渡辺一正(前掲)
- 第5回 「大工棟梁から学ぶ一大地震でも倒壊を防ぐ木造伝統構法の智慧」、2017.7/23
 - 第1部「伝統木造建造物を様々な災害から護るーKARTH 研究成果の紹介 耐震対策その1」、田村佳英(KARTH 耐震研究チーム、悠計画研究所)
 - 第2部 講義・意見交換「大工棟梁から学ぶ一大地震でも倒壊を防ぐ木造伝統構法の智慧」、江戸 保 (大工)